

概要版

KAWANISHI

あんばい ええまち
かわにし 創生

人口ビジョン・総合戦略



川西市

平成 28 年 3 月



総合戦略策定の趣旨

国においては、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みやすい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定し、総合的に取り組むこととしています。

地方自治体においては、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定が努力義務として求められています。

本市は、大阪、神戸などの大都市近郊のベッドタウンとして、民間の大規模団地の開発によって急速に発展してきたという都市の特性から、県下の他市町よりも急速に高齢化が進行するという状況にあります。

昭和 50 年代初頭から積極的にコミュニティ施策を進めてきた結果、全地域の概ね小学校区において、コミュニティ推進協議会が結成され、それぞれの地域において、個性的で自立的な地域づくりが行われているという強みがあります。

こうした背景を踏まえ、本市では、住民の幸せをまちづくりの目標と定め、いかに住民が幸福を感じ、住みやすいまち、住み続けたいまちとして実感できるかを念頭において、住民主体のまちづくりやまちの魅力の発信といった施策を進めているところです。

本戦略は、こうした本市の歴史的な背景や優れた地域力など本市の特性を踏まえて策定するとともに、市民や事業者、各種団体など、まちづくりの様々な主体が連携・協働して、持続的な川西を創造するための指針と位置づけるものです。

あんばんい ええまち かわにし 創生

人口ビジョン

位置づけ

川西市の人口動向を分析し、今後めざすべき将来の方向と人口の将来展望を示すもの

対象期間

平成27(2015)年～平成72(2060)年

総合戦略

位置づけ

市民や事業者、各種団体など、まちづくりの様々な主体が連携・協働して、持続的な川西を創造するための指針

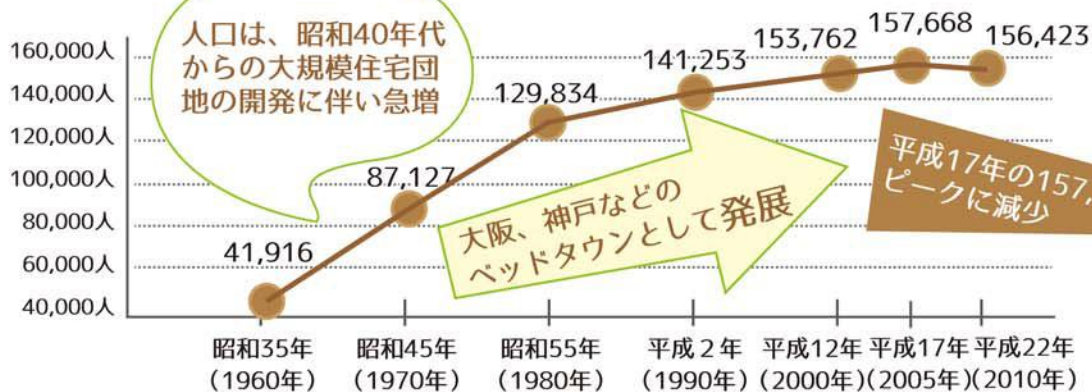
計画期間

平成27(2015)年度～平成31(2019)年度(5か年)

人口ビジョン

川西市の人口推移

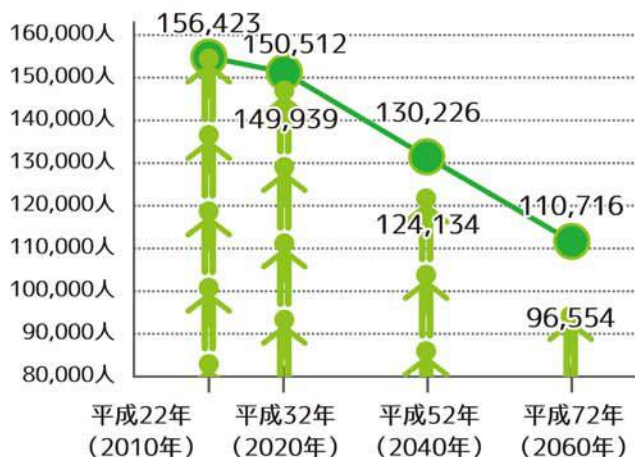
これまでは・・・



出典：国勢調査

将来人口推計

これからは・・・



市人口推計

- ①子育て支援等を充実
⇒年間出生数1,000人を維持
- ②移住転入支援等を充実
⇒社会移動均衡という条件で推計
⇒平成52年：130,226人
⇒平成72年：110,716人

国立社会保障・人口問題研究所人口推計

- ⇒平成52年：124,134人
- ⇒平成72年：96,554人

人口の将来展望

- ①子育て支援等により今後も年間出生数 1,000 人を維持
- ②移住転入支援等により、人口移動の均衡

⇒総合戦略の計画期間中(H27～31年度)151,000人を維持、長期的(H72)には110,000人を確保



基本目標

1

良好な住環境を維持・創出し、 住み良さを実感できるまちをめざす

数値目標・幸せ実感指標（方向性）	現状値（H26）	目標値（H31）
「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合（％）	76.3%	80.0%
社会移動数転入・転出の均衡（→）	48人（H25）	均衡状態
「住み良いまちだ」と思う市民の割合（％）	85.2%（H27）	86.0%

①活力ある地域の再生

- ・多世代交流やコミュニティの活性化を図るとともに、住み替え等による住宅の流動化、若年世帯の流入促進を図ります。

②人にやさしい交通体系

- ・地域内公共交通の確立、高齢者への公共交通利用促進支援などに取り組みます。

③公共施設マネジメントの強化

- ・長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、良好な住環境の整備を推進します。

④魅力の創造・発信

- ・様々な地域資源・観光資源を活用し、交流人口の増加を図ります。
- ・シティプロモーション（市の魅力を積極的に発信する取組み）を展開し、本市の魅力の認知度の向上を図ります。

⑤安全安心のまちづくり

- ・全ての市民が安全で安心に暮らせるまちづくりを進めます。

⑥住環境の整備

- ・道路、交通安全施設、公園、上下水道の環境整備など、安全安心で、かつ良好な住環境づくりを進めます。

基本目標

3

地域のきずなを深め多世代交流を促進する

数値目標・幸せ実感指標（方向性）	現状値（H26）	目標値（H31）
自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合（％）	38.0%	41.0%
ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合（％）	13.6%	23.0%
地域の人と交流することで充実感を感じる市民の割合（％）	52.3%（H27）	57.0%

①健幸づくりの推進

- ・老若男女問わず、日頃から自身の健康を意識しつつ、幸せを実感できる健幸まちづくりを進めます。

②自主的な地域づくり

- ・地域分権制度に基づくまちづくりを進め、コミュニティを中心とした地域づくり活動を積極的に支援します。

③つながり支え合うまちづくり

- ・地域における障がい者（児）や高齢者などの居場所づくりの支援を進めるとともに、地域団体などの自主的な地域福祉活動や見守り体制の充実を図ります。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標・幸せ実感指標（方向性）	現状値（H26）	目標値（H31）
「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合（％）	51.5%	67.0%
市内出生数（住民基本台帳登録者数）（→）	1,172人	1,000人
子育てに喜びや生きがいを感じている市民の割合（％）	89.2%（H27）	95.0%

①結婚支援

- ・出会いや結婚を支援するなど、結婚しやすい環境づくりを進めます。

②出産支援

- ・妊娠期から子育て期にわたる継続的な支援を充実させることで、妊婦及び出産後の母子の不安を解消し、心身の健康を寄り添いながら支援します。

③子ども・子育て支援

- ・子育てしやすい環境の整備を図るとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。
- ・就学前教育、保育環境の充実を図ります。

④教育環境の充実

- ・川西の特徴を活かした学習環境の整備を図り、学校教育の充実を進めます。

⑤女性が働きやすい環境づくり

- ・子育て中の女性が、仕事と育児の両立ができる環境づくりを進めます。
- ・女性の新たなライフスタイルの確立を支援します。



新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす

数値目標・幸せ実感指標（方向性）	現状値（H26）	目標値（H31）
市内事業所数（ノ）	4,171事業所	4,200事業所
市内就業率（％）	47.4%（H22）	50.0%（H32）
仕事に充実感がある市民の割合（％）	79.7%（H27）	85.0%

①就労支援の充実

- ・若年層や子育て中の女性などの就労支援の充実を図ります。

②新たな仕事と雇用の創出

- ・新たな仕事と雇用を創出する事業に対し、事業主を支援します。
- ・女性・シニア世代の起業への支援を行います。

③産業の活性化

- ・商工会との連携を強化し、産業の活性化に向けた取組みを進めます。
- ・都市農業という本市の特徴を活かし、地産地消による販路の拡大などの取組みを進めます。

まちづくりの主体の役割

本戦略の推進に際しては、以下のまちづくりの主体による積極的な取組みの展開が期待されます。

まちづくりの主体	期待される役割
市民	すべての市民が、ふるさと意識を持って、人と人とのつながりを大切に、まちづくりに主体的に参画し、自分たちのまちを支えます。
市民公益活動団体	地域のつながり、自らの知識・専門性を活かし、様々なまちづくりの主体と連携しながら参画と協働のまちづくりを推進し、人口減少社会に対応した取組みを展開します。
事業者	まちづくりの様々な場面で、官民連携の視点に立って、民間ノウハウの提供、事業への参画等、積極的に地域の活性化に貢献します。

総合戦略の進行管理

本戦略については、策定後も毎年、戦略に位置付けられた基本目標の進捗状況を確認し、必要に応じて、事業の検証を行う必要があります。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議において、総合的かつ専門的な見地から意見を聴取し、客観的な効果検証を行い、進行管理を行うこととしています。

- 市民・事業者等アンケート調査結果
- あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議（学識経験者、経済団体関係者、教育機関関係者、市民公益活動団体、金融機関関係者、報道・メディア関係者、労働団体関係者、関係行政機関）

